

平成26年 4月吉日

各教育委員会教育長様
各国・公・私立中学校長様
各中学校技術・家庭科担当者様
関係各位

東北地区中学校技術・家庭科研究会
岩手県中学校教育研究会技術・家庭科部会
会長 藤原 美智雄

第54回東北地区中学校技術・家庭科教育研究大会
第51回岩手県中学校技術・家庭科教育研究大会
岩手・一関大会のご案内（一次案内）

時下、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、このたび、第54回東北地区中学校技術・家庭科教育研究大会を岩手県一関市で開催することになりました。ご多用のこととは存じますが、本大会に多数のご参加をいただき、ご指導、ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

大会開催要項

- 主催** 全日本中学校技術・家庭科研究会
東北地区中学校技術・家庭科研究会
岩手県中学校教育研究会技術・家庭科部会
- 後援** 岩手県教育委員会 一関市教育委員会 平泉町教育委員会
岩手県中学校教育研究会 岩手県中学校長会 岩手県小中学校副校長会
一関地方中学校長会 一関地方副校長会 岩手県産業教育振興会
公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会 日本教育会岩手県支部
公益財団法人日本教育公務員弘済会 一般財団法人岩手県教育振興基金
- 期日** 平成26年10月31日（金）
〔理事研修会：10月30日（木） 16:00～ ベリーノホテル一関〕
- 会場** 一関市立花泉中学校
全体会、公開授業、授業分科会、課題別分科会
- 研究主題** 「自ら技術と生活の課題を見つけよりよいものを求めて
創造する力を培う授業の研究」
副題 <思考の筋道を整理する活動を通して>（仮）

6 主題設定の理由

本教科においては、生活の自立を図り生きる力をはぐくむために、単なる知識や技術の習得を図るだけでなく、より一層進んで生活を工夫したり創造したりする能力と実践的な態度を育てることをめざしている。しかしながら、生徒の実態をみると体験的な学習に対して意欲的であるものの、自ら考え、工夫し、根拠に基づいて自己決定をしていくことや習得したことを生活に生かしたりすることが十分できていない状況が見られる。

このような状況を改善していくためには、技術や生活の課題を見つけさせ、仲間との共同の学び合いの中で思考し、自身の言葉や図を用いた説明により筋道を整理して課題解決へと向かう力、創造する力を育てる必要があると考える。

そこで、本研究会では研究主題を「自ら技術と生活の課題を見つけよりよいものを求めて創造する力を培う授業の研究」と設定して研究を推進することとした。

7 指導助言者

(1)全体会

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
 文部科学省生涯学習政策局情報教育課 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 上野 耕史 様
 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 筒井 恭子 様

(2)授業分科会・課題別分科会

東北地区大学教官・関係教育機関指導主事等

8 日 程

8:20 8:50 9:30 9:35 10:35 10:50 11:40 12:40 13:30 13:45 15:45 16:00

受付	開会 行事	全体 研究会	公開 授業	昼食 休憩	授業別 分科会	課題別 分科会	閉会 行事
----	----------	-----------	----------	----------	------------	------------	----------

9 開会行事と全体研究会

開会行事		全体研究会
1) 開会のことば	5) (功労者紹介)	1) 開会の言葉
2) あいさつ	6) 大会宣言決議	2) 議長選出
3) 祝辞	7) 次期開催県あいさつ	3) 提 案 ①岩手 ②福島 ③宮城
4) 来賓講師紹介	8) 閉会のことば	4) 全体指導・助言
		5) 閉会の言葉

10 公開授業

分野・内容		授業者
1	技術分野 エネルギー変換に関する技術	小崎 琢磨 (一関市立千厩中学校)
2	技術分野 情報に関する技術	佐々木智仁 (一関市立花泉中学校)
3	家庭分野 食生活と自立	新田えつ子 (一関市立花泉中学校)
4	家庭分野 家族・家庭と子どもの成長	山口 祐佳 (一関市立一関中学校)

11 課題別分科会

分野・内容		発表県	岩手県内担当地区
1	技術分野A 材料と加工に関する技術	岩手 青森	気仙 釜石
2	技術分野B エネルギー変換に関する技術	山形 秋田	岩手 花巻 胆江
3	技術分野C 生物育成に関する技術	福島 宮城	紫波 和賀 二戸 九戸
4	技術分野D 情報に関する技術	青森 宮城	盛岡 宮古・下閉伊
5	家庭分野A 家族・家庭と子どもの成長	秋田 福島	紫波 胆江
6	家庭分野B 食生活と自立	青森 山形	和賀 気仙 九戸
7	家庭分野C 衣生活・住生活と自立	宮城 福島	岩手 花巻 二戸
8	家庭分野D 身近な消費生活と環境	秋田 岩手	盛岡 釜石 宮古・下閉伊

12 大会参加費 4,000円 (資料代を含む)

13 大会事務局 ☎020-0876 盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内
 岩手県技術・家庭科教育研究会 事務局 高橋光広
 ☎019-623-4337 FAX019-623-4338 E-mail iwate@ajgika.ne.jp